

表 1. 2019年「災害に備えた平時からの母子保健・産科医療の連携状況に関する調査」結果

I. 周産期医療協議会・災害時の母子保健・産科医療体制を協議する場について

1. 協議体の有無についておたずねします。

(1) 災害時の産科医療体制についての検討の場はありますか。

N=47	2013		2019	
あり	25	53.2%	38	80.9%
なし	22	46.8%	9	19.1%
合計	47	100.0%	47	100.0%

(2) 先の質問で、「あり」とお答えの場合、それは、どのような場ですか。

- ①「周産期医療協議会」(以下、協議会)
- ②自治体における地域防災会議
- ③他の協議体

複数回答	2013(n=25)		2019(n=38)	
①	25	100.0%	37	97.4%
②	0	0.0%	0	0.0%
③	1	4.0%	1	2.6%
合計	26		38	

2.(1) 周産期医療協議会の関係者・関係団体の参画状況(委員)についておたずねします。

【医師会や助産師会等保健医療関係機関・団体の代表】

N=47	2013		2019	
医師会	39	83.0%	39	83.0%
産婦人科医会	40	85.1%	41	87.2%
小児科医会	27	57.4%	28	59.6%
助産師会	27	57.4%	32	68.1%
その他	31	66.0%	37	78.7%

【周産期母子医療センターなどの医療従事者】

N=47	2013		2019	
産婦人科医	43	91.5%	45	95.7%
小児科医	42	89.4%	41	87.2%
助産師	2	4.3%	5	10.6%
看護師	3	6.4%	7	14.9%
その他	9	19.1%	11	23.4%

【救命救急センターなどの医療従事者】

N=47	2013		2019	
救急医	1	2.1%	3	6.4%
麻酔科医	0	0.0%	0	0.0%
看護師	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%

【学識経験者】

N=47	2013		2019	
産婦人科医	28	59.6%	30	63.8%
小児科医	26	55.3%	27	57.4%
その他	10	21.3%	9	19.1%

【その他:自治体など】

複数回答	2013		2019	
災害医療コーディネーター	0	0.0%	1	2.1%
市町村 周産期医療担当者	4	8.5%	3	6.4%
市町村 災害医療担当者	0	0.0%	0	0.0%
市町村 母子保健担当者	6	12.8%	7	14.9%
保健所長	24	51.1%	23	48.9%
消防関係者	32	68.1%	30	64.4%
警察関係者	0	0.0%	0	0.0%
医療を受ける立場の方	3	6.4%	3	42.9%
その他	14		16	

(3)協議会の事務局に下記担当者は入ってますか。「はい」の場合該当する職種に☑を入れてください。

N=47	2013		2019	
はい	31	66.0%	32	68.1%
いいえ	14	29.8%	14	29.8%
未回答	2	4.3%	1	2.1%
合計	47	100.0%	47	100.0%

複数回答	2013(n=31)		2019(n=32)	
母子保健担当者	26	83.9%	24	75.0%
災害医療担当者	12	38.7%	19	59.4%
合計	38		43	

(4) 協議内容(議題としてH24年度以降に取り上げられたこと)についておたずねします。

※①から⑨まで該当する番号を全て選択し○をお付けください

- ①周産期医療体制に係わる調査分析事項
- ②周産期医療体制整備計画(MFICU,NICUの病床整備など)に関する事項
- ③母体および新生児の搬送および受け入れ体制に関して
- ④周産期母子医療センターの整備に関して
- ⑤搬送コーディネーター制度に関して
- ⑥周産期医療関係者に対する研修に関して
- ⑦母子保健部門との連携について
- ⑧周産期医療(稼働状況や診療内容など)に関する妊産婦への情報提供体制について
- ⑨その他

複数回答	2013		2019	
	件数	割合	件数	割合
①	38	80.9%	40	85.1%
②	37	78.7%	42	89.4%
③	33	70.2%	37	78.7%
④	30	63.8%	33	70.2%
⑤	11	23.4%	16	34.0%
⑥	16	34.0%	28	59.6%
⑦	9	19.1%	17	36.2%
⑧	4	8.5%	8	17.0%
⑨	20	42.6%	21	44.7%
合計	198		242	